

コ マ ツ

適用範囲		モデル名	PC30MR-5	PC35MR-5	PC45MR-5	PC55MR-5	PC30UU-6	
		適用号機	50001～	30001～	30001～	20001～	20001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	検査基準値					
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドルリング ローアイドルリング (冷却水温) (作動油温)	min <sup>-1</sup> min <sup>-1</sup> (°C) (°C)	2350±50 1200±50 (60～100) (45～55)	2350±50 1200±50 (60～100) (45～55)	2430±50 1225±50 (60～100) (45～55)	2430±50 1225±50 (60～100) (45～55)	2400±50 1200±50 (60～100) (45～55)
		弁隙間 〔吸気弁 隙間〕 〔排気弁 隙間〕 (測定条件)	mm mm (°C)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)
		圧縮圧力 (エンジン油温) (回転速度)	MPa kg/cm <sup>2</sup> (°C) (min <sup>-1</sup> )	2.65 27 (40～60) (250)	2.65 27 (40～60) (250)	2.45 25 (40～60) (250)	2.45 25 (40～60) (250)	2.65 27 (40～60) (250)
燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	MPa kg/cm <sup>2</sup>	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り  〔測定位置・条件〕	mm	7～10 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N	7～10 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N	5～8 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N	5～8 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N	7～10 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N	
走行装置	走行性能	最高速度  〔測定位置・条件〕 (図面番号表示)	S	ゴム履帯 15.7±4 鉄履帯 16.4±4 〔20m 走行〕	ゴム履帯 15.7±4 鉄履帯 16.4±4 〔20m 走行〕	ゴム履帯 15.7±4 鉄履帯 16.7±4 〔20m 走行〕	ゴム履帯 15.7±4 鉄履帯 16.7±4 〔20m 走行〕	ゴム履帯 15.7±4 鉄履帯 16.4±4 〔20m 走行〕
		張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 (図面番号表示)	mm	1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照	1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照	1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照	1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照	1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照
		張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 (図面番号表示)	mm	10～30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照	5～15 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照	10～30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照	10～30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照	10～30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照
		リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕	mm	107 〔1リンク〕	107 〔1リンク〕	143 〔1リンク〕	143 〔1リンク〕	107 〔1リンク〕
	履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	—	—	—	—	—	

★印：新車基準値を表す。

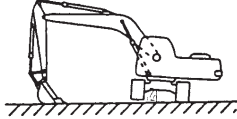
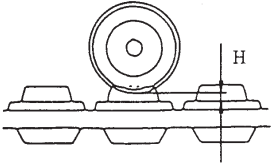
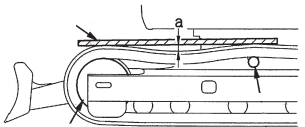
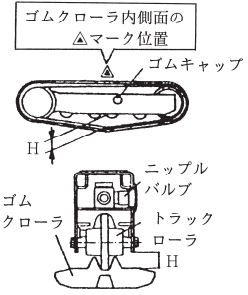
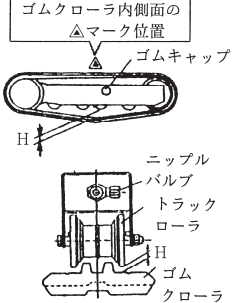
PC38UU-6	PC58UU-6						
60001～	30001～						
検査基準値							
2400±50 1200±50 (60～100) (45～55)	2550±50 1225±50 (60～100) (45～55)						
0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)						
2.65 27 (40～60) (250)	2.45 25 (40～60) (250)						
コモンレール	コモンレール						
7～10 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N	7～10 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N						
ゴム履帯 15.0±4 鉄履帯 15.4±4 〔20m 走行〕	ゴム履帯 17.1±4 鉄履帯 16.4±4 〔20m 走行〕						
1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照	1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照						
10～30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照	10～30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照						
107 〔1リンク〕	143 〔1リンク〕						

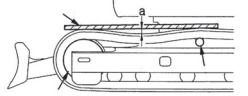
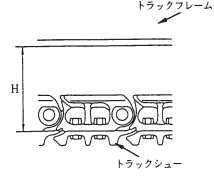
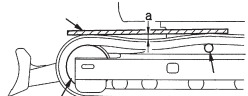
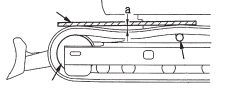
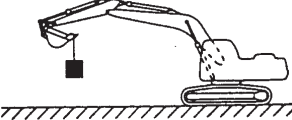
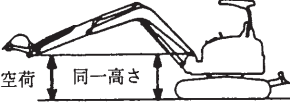
コマツ

適用範囲		モデル名	PC30MR-5	PC35MR-5	PC45MR-5	PC55MR-5	PC30UU-6	
		適用号機	20001～	20001～	20002～	30001～	15001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	検査基準値					
業 装 置	作業機 自然降下	バケット先端位置	mm	450	450	450	450	450
		(測定時間) (作動油温) (作業装置姿勢 (図面番号表示) 荷重)	(min) (°C) (kg N)	(15) (45～55) 144 1410	(15) (45～55) 108 1058	(15) (45～55) 230 2254	(15) (45～55) 250 2450	(15) (45～55) 144 1410
	シリンダー 自然伸縮	ブームシリンダー	mm	30	15	30	30	30
		アームシリンダー バケットシリンダー ブレードシリンダー (測定時間) (作動油温) (作業装置姿勢 (図面番号表示) 荷重)	mm mm mm (min) (°C) (kg N)	30 30 30 45 (15) (45～55) 144 1410	44 24 45 (15) (45～55) 108 1058	30 30 30 45 (15) (45～55) 230 2254	30 30 30 45 (15) (45～55) 250 2450	30 30 30 45 (15) (45～55) 144 1410
	作業機 速度	ブーム上げ (作業装置姿勢 (図面番号表示))	S	3.2	3.0	3.4	3.4	4.0
			(図5参照)	(図5参照)	(図5参照)	(図5参照)	(図5参照)	
		アームシリンダー伸ばし 縮め (作業装置姿勢 (図面番号表示))	S	3.4	3.0	3.6	3.7	4.1
			S	3.1	2.6	3.0	3.0	3.3
		バケットシリンダー伸ばし 縮め (作業装置姿勢 (図面番号表示) 性能測定条件 (荷重・設定モード等))	S	3.2	3.2	3.5	3.4	3.2
	S		2.5	2.6	2.4	2.4	2.5	
油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (性能測定条件 (設定モード等) ・油温 ・エンジン回転)	MPa	25.5～26.9	26.0±0.98	26.5±0.98	26.5±0.98	24.5±0.98	
		kg/cm <sup>2</sup> (°C) (min <sup>-1</sup> )	260～275 (45～55) (フル回転)	265±10 (45～55) (フル回転)	270±10 (45～55) (フル回転)	270±10 (45～55) (フル回転)	250±10 (45～55) (フル回転)	
動力 伝達 装置	旋回ベアリング 取付けボルトの 締付け	アウトレース取付け ボルトの締付けトルク	N・m	118～137	118～137	118～137	118～137	98～123
		kg・m	12.0～14.0	12.0～14.0	12.0～14.0	12.0～14.0	10.0～12.5	
		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N・m	98～123	118～137	98～123	98～123	98～123
	kg・m	10～12.5	12.0～14.0	10～12.5	10～12.5	10.0～12.5		
旋回減速機 取付けボルトの 締付け	油圧モーター取付け ボルトの締付けトルク	N・m	—	—	—	—	—	
		kg・m						
旋回減速機 取付けボルトの 締付け	旋回減速機取付けボルト の締付けトルク	N・m						
		kg・m						

★印：新車基準値を表す。

PC38UU-6	PC58UU-6							
15001～	15001～							
検査基準値								
450 (15) (45～55) (図4-1参照) 180 1760	450 (15) (45～55) (図4-1参照) 360 3530							
30 30 30 45 (15) (45～55) (図4-1参照) 180 1760	15 45 22 45 (15) (45～55) (図4-1参照) 360 3530							
3.0 (図5参照)	3.6 (図5参照)							
4.6 3.9 (図6参照)	4.2 3.7 (図6参照)							
4.1 2.7 (図7参照)	3.9 2.8 (図7参照)							
[無負荷]	[無負荷]							
25.5～26.9 260～275 (45～55) (フル回転)	26.5±0.98 270±10 (45～55) (フル回転)							
98～123 10.0～12.5	98～123 10.0～12.5							
98～123 10.0～12.5	98～123 10.0～12.5							

<p>走行性能測定姿勢</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジンフル</li> <li>・作動油温：45～55℃</li> <li>・履帯を片側ずつ持ち上げて1回転空転後の5回転の空転所要時間</li> </ul> <p>(図 No. 1)</p>	
<p>ゴム履帯の張り (たわみ量) 測定方法</p>	<p>履帯を浮かせゴムクローラの継ぎ目部(Mマーク)をアイドラ・スプロケット間中心上側にし、トラックローラとゴムクローラ転動面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 2-1)</p>	<p>アイドラと1番目のキャリアローラ間のトラックシューの上に角材を乗せる。角材とトラックシューの間の最大すきまaを測定する。</p>  <p>(図 No. 2-2)</p>
	<p>履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の▲マークをクローラフレーム上部のスラセ板の上に合わせた状態で、クローラフレーム下面とゴムクローラ踏面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 2-3)</p>	<p>履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の▲マークをクローラフレーム上部のスラセ板の上に合わせた状態で、アイドラ側より2番目のトラックローラ転動面とゴムクローラ踏面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 2-4)</p>

	<p>アイドラからキャリアローラまで届く角材を履帯上に置く。 履帯上面と角材下面間の最大たるみ量を測定する。</p>	 <p>(図 No. 2-5)</p>
<p>鉄製履帯の張り (たわみ量) 測定方法</p>	<p>履帯を浮かせ、トラックローラ踏面とトラックリンク上面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 3-1)</p>	<p>アイドラと1番目のキャリアローラ間のトラックシューの上に角材を乗せる。角材とトラックシューの間の最大すきまaを測定する。</p>  <p>(図 No. 3-2)</p>
	<p>アイドラからキャリアローラまで届く角材を履帯上に置く。 履帯上面と角材下面間の最大たるみ量を測定する。</p>	 <p>(図 No. 3-3)</p>
<p>作業機自然降下量 及び 各シリンダーの 自然伸縮量測定姿勢</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の姿勢から各シリンダの伸び量、縮み量およびバケットツース先端の降下量を測定する。</li> <li>・水平・平坦地</li> <li>・バケット：定格負荷</li> <li>・レバー中立</li> <li>・エンジン停止</li> <li>・作動油温：45～55℃</li> <li>・セッティング直後に測定開始</li> <li>・5分毎に降下量を測定し、15分間にて判定する。</li> </ul> <p>(図 No. 4-1)</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン：停止</li> <li>・作動油温：45～55℃</li> <li>・ブームピンとバケットピンの高さを同一とする。</li> <li>・上記の本機姿勢で10分間の各シリンダロッドの伸び量又は縮み量を測定する。</li> <li>・ブレード自然降下量は最大上げ位置より10分間のシリンダロッド縮み量を測定する。</li> </ul> <p>(図 No. 4-2)</p>

コ マ ツ

作業機速度測定姿勢	ブーム上げ	<p>・エンジンフル ・作動油温：45～55℃</p> <p>(図 No. 5)</p>	<p>・エンジンフル ・作動油温：45～55℃</p> <p>(図 No. 6)</p>
	バケットシリンダ 伸ばし 及び 縮め	<p>・エンジンフル ・作動油温：45～55℃</p> <p>(図 No. 7)</p>	